

2025年2月26日

各位

三井住友信託銀行株式会社  
株式会社北陸銀行  
株式会社日本政策投資銀行

## サステナビリティ・リンク・ローンの契約締結について (三協立山株式会社)

三井住友信託銀行株式会社(取締役社長:大山 一也、以下「三井住友信託銀行」)、株式会社北陸銀行(頭取:中澤 宏、以下「北陸銀行」)および株式会社日本政策投資銀行(代表取締役社長:地下 誠二、以下「日本政策投資銀行」)(以下「アレンジャー」)は、共同して、三協立山株式会社(代表取締役社長 社長執行役員:平能 正三、以下「三協立山」)との間で、ローン・マーケット・アソシエーション(LMA)(※1)等が策定した「サステナビリティ・リンク・ローン原則」および環境省が定めた「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」(以下、総称して「サステナビリティ・リンク・ローン原則等」)に則したシンジケーション方式の「サステナビリティ・リンク・ローン」のアレンジャーに就任し、融資契約(以下「本件」)を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手の経営戦略に規定されているサステナビリティ目標と整合した「キー・パフォーマンス・インディケーター(以下「KPI」)」と「サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット(以下「SPT」)」を設定し、貸付条件と SPT に対する借り手のパフォーマンスとを連動させ、SPT 達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

本件は、株式会社日本格付研究所(代表取締役社長:高木 祥吉)より、サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性について第三者意見(※2)を取得しています。

アレンジャーは、サステナビリティ・リンク・ローンなどのサステナビリティに関するソリューションの提供により、SDGs 達成に資するお客さまのさまざまな事業活動を支援するとともに、お客さまの中長期的な企業価値の向上に貢献することを引き続き目指していきます。

### <三協立山について>

三協立山は、1960年に創立した三協アルミニウム工業を前身とし、建材事業、マテリアル事業、商業施設事業および国際事業を展開しています。長期的な目指す方向性としてサステナビリティビジョン2050「Life with Green Technology ～『環境技術でひらく、持続可能で豊かな暮らし』を実現する企業グループへ～」を策定し、2030年度目標を設定しました。




長期ビジョン「VISION2030」に向け、「環境にやさしく」、「安心な社会へ」、「暮らしを快適に」を軸とし、各事業活動を通じて魅力ある価値を創造するとともに、市場の変化に柔軟に対応できる経営基盤を構築し、持続可能で豊かな暮らしを実現する企業を目指していく方針です。

<本件(シンジケートローン)の概要>

契約締結日	2025年2月26日
アレンジャー	三井住友信託銀行、北陸銀行、日本政策投資銀行
エージェント	三井住友信託銀行
サステナビリティ・コーディネーター	日本政策投資銀行
組成金額	100億円
資金用途	新湊東工場増設に関する設備資金

<KPI および SPT の概要>

本件は、以下の KPI と SPT を設定しています。

KPI	SPT	SDGs
三協立山グループの CO <sub>2</sub> 排出量 (Scope1・2)	2026 年度時点で、三協立山グループの CO <sub>2</sub> 排出量 (Scope1・2) を 2017 年度対比にて 37.3%削減	  

(※1)ローン・マーケット・アソシエーション (LMA)

欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会であり、60ヶ国以上に属する 700 以上の機関が加盟しています。

(※2)サステナビリティ・リンク・ローン原則等への適合性についての第三者意見

株式会社日本格付研究所のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>

以上